

社会的要因

- 沖縄県における卒業後の進路未定者の割合が
- ・中学の場合3.2%（全国平均0.9%）
- ・高校の場合18.2%（全国平均4.9%）
- ・高校中退率2.0%（全国三位）
- ・沖縄県の離職率7.7%（全国一位）

経済的要因

- 活動費用として各活動ごとに学校側から5～6万円徴収。
- カタヤビラ自体の運営とは別に活動単位での
- 運営メンバーを設置。
- 声掛け（募集は直接の声掛けもしくは志願制）

環境的要因

- 実際に生徒のいる学校に向かう際、乗り合わせ、
- 大学のバス借用など、なるべく車の使用を控え、
- CO₂排出量を削減。
- 練習会の際に使用する用紙類は、再生紙を使用している
- 沖縄国際大学の印刷室を活用することで、
- 紙資源再利用に貢献。

カタヤビラ



大学生・専門学生・若手社会人

十ダメの関係

生徒が気軽に話せる関係

STEP1

STEP2

STEP3

高校生と話す事を想定した事前練習会

他人という関係を崩すためのゲーム

仲良くなるための導入の雑談

夢・目標
そしてその達成のために
今何ができるか？

中学生・高校生

活動成果

活動前後の進路に関する
アンケート結果



- ワクワクが止まらない～
- 不安もあるけど楽しみ！
- 半々かな？
- 楽しみだけど不安も…
- ひたすら不安…
- 無回答

活動を通しての
生徒・先生方の声

たくさん参考になる話がありました！（高3男子）
活動が終わった後、子ども達が良く話してくれる様になってる感じがとてもするんですね。（男性教諭）
教師が話すよりもはるかに生徒に届いている気がしました（女性教諭）
自分の進路の分岐点になりました。（中3女子）
大学生ってお堅いイメージがあつたけど親とかに話しづらいことも相談できました！（高3女子）

昨年度活動実施詳細

活動実施数：8回 活動実施校数：7校

活動詳細 真和志高校（3年生）糸満中学校（3年生）、首里高校（1年生1クラス）
首里東高校（沖縄国際大学オープンキャンパス参加者）、NPO法人夢咲学園、
西原高校（1学年）、北部農林高校（1, 2学年）

活動経費 各活動につき5～6万円を徴収。交通費や消耗品などに活用。

今後の活動

活動実施校を拡大し、より多くの生徒にキッカケづくりの場を提供。
活動拡大に伴うボランティアスタッフの増加のため、SNS活用やイベント等を開催。
事前練習会の質を上げ、進路や就職についての勉強会を実施し、より生徒の話に
応えられるようにスタッフを育成。

コネクションプロデュース ～つながりを創作する～

コネクションプロデュースとは どういう団体？

コネクションプロデュース（以下コネプロ）は「地域愛＝環境保全」をモットーに活動を展開しています。活動分野が、環境教育・平和教育・修学旅行生受け入れガイド・学童ボランティアなど多岐にわたる活動を行っています。

また、昨年10月には那覇市より「那覇市協働大使」を委嘱し那覇市の町づくり活動にも貢献しています。

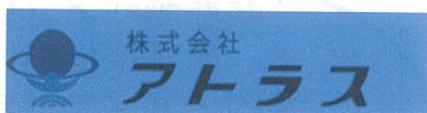
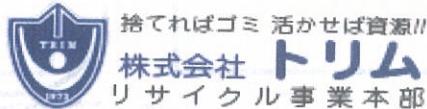


沖国大祭とは？

毎年11月下旬に沖縄国際大学で2日間にわたり大学祭が実施されています。屋内で40屋外で85の出店団体があり、2日間での6,000人余りの来場者を誇り、学内全体で盛り上がっており、県内の大学祭でも規模の大きなものとなっています。

11月23日(土) SA,RENA,さいや商店・DJ KEIN, NOBUE
11月24日(日) 宮城紗絵・ひとりでできるもん・山口リサ・SAY・DJ OLDE-E
第42回 沖国大祭
Ms. Mr.コンテスト B-1グライアード・ゴールデンタフの沖国大祭 ドラマ祭・日曜大吉祭
11.23(土)~11.24(日)
11:00~21:00

協力会社～Cooperating companies～



軽石リサイクルにて

BDFリサイクルにて

昨年度の寄付先

大学祭 ゴミ有料化プロジェクト

対象者への課題（活動における狙い）

- ・ゴミを減らすという認識に欠けており、大量仕入、大量廃棄が当たり前となっていた。
- ・意識改善への動きがほとんどなかった。
- ・他人任せな考えがゴミを増やす背景からの改善。

環境的 要因

- ①大量のゴミによって外観の悪化や悪臭を招いていた。
- ②ゴミ削減への意識を決定的なものとした。
- ③ゴミ削減+リサイクルに成功。

経済的 要因

- ①ゴミ排出に課金を行い、対象者も活動に関係している。
- ②コンテナの発注を必要最低限としレンタル費用を抑えた。

社会的 要因

- ①工科大学祭の実現
- ②収益により地域貢献
- ③ゴミが出るマイナスを様々な形でプラスに変えた。

エンパワーメント

- ①集会内での呼びかけ
- ②工科班の設置
- ③自ら排出するゴミをチェックする

起業家のアプローチ

大学祭において学内・地域を巻き込み、ゴミ削減と地域貢献に成功した。

生活の質・ 生活水準の向上

軽石やBDF等、リサイクルにも成功し再利用することが出来た。